

10 ケースに関する調査結果と今後の対応

○調査委員会においては、職員からの問題提起に係る事項・事案のうち業務の統一性にかかわると認められた10 ケースについて調査が行われたところである。

		調査結果	今後の対応
4 ケース	「オールゼロ記録」ケース	業務処理に不統一が認められ、年金受給者の間に不公平が生じていると認められる。 (参考) 追加支給件数 1, 311 件 (約10億円)	・支払対象者の最終確認を行い、7月から、順次、追加支払を行う。
	差引に係るケース ケースその1		
	ケースその2		
	ケースその3		
6 ケース	「請求遅れ」のケース	現状、業務の不統一が客観的には明らかになっていないが、業務の不統一・不公平が生じている可能性が認められる。	・業務処理の不統一がないか検証を行い、必要な対応を行う。 ・なお、様式601号については、見直しを行う。
	「手番統合」のケース		
	「手番の重複取消」関連ケース		
	「時効特例計算期間」関連ケース		
	「年金未納期間」関連ケース		
	「601号」用紙関連ケース		
上記10 ケース以外		現時点では、具体的に不統一が生じ得る類型等を特定することはできない。	・サンプル調査の実施等により不統一が生じ得る類型がないかを分析した上で、必要な検証を行う。